

日本共産党市議団

市民要求実現へ一般質問

日本共産党市議団は、6月4日から9日におこなわれた市議会一般質問で、5人全員が市民の要求実現へ一般質問をおこないました。詳しくご覧になりたい方は、町田市議会のホームページで視聴をすることができます。ぜひ、ご覧ください。

少人数の学級実現を／保健所の充実を

細野 龍子



細野龍子市議は、30人学級を早急に実施することを求めました。

できるよう、資料の提供や修繕の実施など、事業者と住民の間に立って問題解決を進めるよう求めました。開発指導担当部長



東京都が小1、中1の39人学級を選択できるようにしましたが、小学校2年生では、まだ40人のすし詰めクラスが7学級もあります。全国の自治体の少人数学級の実施状況を示しながら、町田市で早急に30人学級実施を求めました。

「市として安全を確認していく。必要な場合は是正を求めると答弁しました。宅地開発に伴って削られた生活道路を維持するよう求めましたが、「法的に認められない道路を市として整備できない」と答弁。個別に対応するよう求めました。

教育長は「39人以下学級を実施するよう市長会、教育長会を通じて求めていく」と答弁しました。学校のトイレ、暖房、クーラー、スプリンクラーの整備を求めることについては、教育部長は「それぞれ」計画的に設置していく」と答弁しました。

また、マンションなどの、市の建築確認行政の市民の安心、安全を守る役割について質問しました。届け出と違う場合、市が安全を確認するとともに、住民の不安解消

来年からスタートする町田市立保健所が、市民の健康と安全を守るために役割を果たせるようにすべきと求めました。「職員の充実を図る方向で増員する」と、副市長が答弁しました。

高齢者の孤独死防止／中小企業振興を

佐藤 洋子



「町田市の農業振興の充実を求めて」の質問は毎年おこなっています。町田市は現在「北部丘陵地域農業活性化計画」を策定中ですが、1000畝の広大な小山田・小野路にまたがる農地、山林をいかし、農業で暮らしていけるような振興策、地産・地消で消費者と生産者を結ぶ行政の役割を求めました。

の答弁がありました。

部長からは、体験農園の支援、直売所マップ制作、研修農場に力を入れるなど町田市の能ある街づくりにとりくむと答弁がありました。また、口蹄疫問題でも、畜産農家に対して、観察を強め、変化が少しでも見られたらただちに通報することを通知し、消毒薬補助をおこない、消毒を徹底すると

高齢者の孤独死防止、孤立化を防ぐための施策の進捗状況については、藤の台団地に2カ所目の「高齢者見守り支援ネットワーク」を立ち上げると担当部長が答えました。特別養護老人ホーム建設は2011年度までに、614床つくる予定で、次は第5次介護保険計画の中で策定すると答えました。

また中小企業振興策について小規模工事業契約等希望者登録制度創設、中小企業振興条例制定を求めましたがいづれも、現在でも十分中小企業を支援しているとの答弁に終始しました。

